



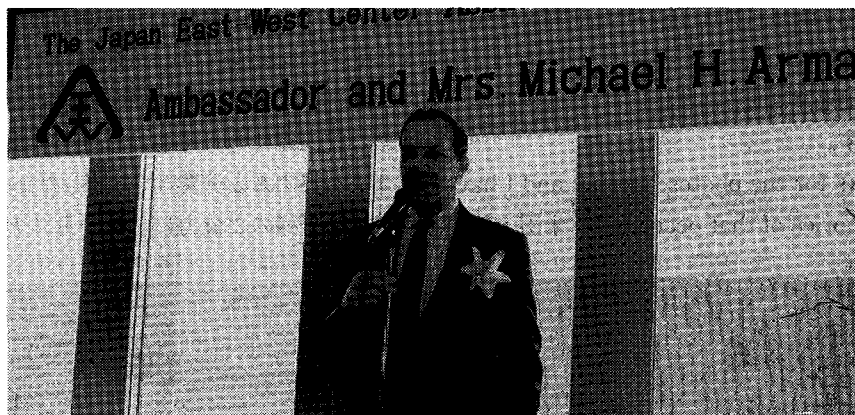
# 日本イーストウエストセンター同友会 The Japan EWC Association

ニューズレター 第4号

## 駐日米国大使マイケル・アマコスト御夫妻歓迎午餐会の開催

企画委員長 渡 辺 晴 子

'77 Professional Associate  
HKW ビデオ・ワークショップ代表  
アジア新聞財団東京支局長



マイケル・アマコスト米国大使とボニー夫人の歓迎午餐会が7月15日有楽町マリオン内アラスカにおいては多数の会員とその友人出席のもとに開催されました。

この午餐会は、大使ご夫妻を歓迎すると共に日米友好を更に深めるために、日本イーストウエストセンター同友会が、その役割の一端を担えることを期待して、今年一月に幹事会で企画したものです。

ご承知のように、日本の国際的地位に比例してセンターや国際同友会からの日本同友会に対する期待は大きくなってきているのですが、各方面で現在活躍されている同友会々員お一人、

お一人のご支持なしではこの期待に応えることは難しいことです。

そこで、新任大使と親しくご歓談頂きながら、センターで受けた Hawaiian Hospitality を思い起こし、これからのアジア・太平洋地域に於ける米国と日本の役割を改めて考えて頂こう、というのが企画の趣旨でした。

ご出席頂けなかった方々へ、少し説明致しますと、午餐会はイーストウエストセンター理事・日本同友会顧問山下勇氏の乾杯で始まりました。司会の渡辺による大使ご夫妻の紹介の後、Hawaiian Luau (子豚の丸焼他) が会場に運びこまれ、BGM の Hawaiian Music の流れる中、

約100名の参加者が French-Hawaiian Buffet を楽しみました。

お腹が落着いたところで、改めて日本同友会々長馬場房子氏が大使ご夫妻を歓迎、アマコスト大使の speech の順となったわけですが、大使は旧知のジャーナリストや学者の顔ぶれを見て、「日本での教授経験があるなら、アジア問題全般の専門家だろうという国務省の誤解」から、学者から外交官への転身が行われた、というジョークを挟んで色々と private な episode を被露されました。

ジョークとユーモアの湧れた大使と参加者の対話の後は、飯塚成彦氏のお世話による書道家佐野丹丘師による書の贈呈。国際イーストウエストセンター同友会々長千本倅生氏の結びの言葉で笑い声の絶えなかった午餐会を和やかに閉会致しました。

大使館側とメディアからの礼状の一部をお伝え致します。

“Thanks for the photos. Bonny and I have fond memories of that occasion” (米国大使ア

マコスト氏)

“In retrospect the buffet reception in honor of the Armacosts which you organized Saturday was a wonderful occasion—warm, substantive and successful! ……We look forward to our continuing association with JEWCA and stand ready to assist you in any way we can prove helpful.” (在日米国大使館広報・文化交流局長アルバート・ボール氏)

“It was an honor to be included in the Japan East-West Center reception……Not only was the food delicious, but the people there were first-class folks. I thoroughly enjoyed it all. Many thanks for your generous hospitality.” (日本外国特派員協会々長・U. S. ニュース・アンド・ワールド・リポート東京支局長マイケル・サープ氏)

米国大使を正式に招待するということは民間の各種団体にとってどれだけの電話と書類づくりが必要であるか改めて確認した企画でしたが、会員の皆様のご協力により一月の大使館への手

紙、大使指名お祝いの Telex から始まった分厚いファイルが無事閉じることが出来ました。

最後になりましたが、在日米国大使館広報・文化交流局長参事官ロバート・L・M・ネビット氏に確実に緊急連絡をつけて下さった馬場房子会長および幹事の皆様、興味深い発言で会を盛り上げて下さった三和義彦氏、西山千氏、関西

支部からわざわざお越し下さった太田幹雄氏、芦田友秀氏に改めて厚くお礼申し上げます。

尚、写真記事は Japan Times 等で既に御覧の方もおありかと存じますが、同友会が撮影したカラー写真が次の総会で展示されますので、ご希望の方はお申込み下さい。

## 総会のお知らせ

平成元年度日本イーストウエストセンター同友会の総会を下記の要領で開催いたします。総会終了後は'64~'66年度 EWC Grantee で元読売新聞論説委員、現在お茶の水女子大学で教鞭をとられる湊和夫氏による講演と、懇親会を予定して居ります。また、総会には現 EWC 同友会顧問の、EWC 理事山下勇氏 (JR 東日本会長)、日本大学経済学部長井手生氏 (EWC '82)、前日本 EWC 同友会会長高沢義行氏 (EWC '71、現ノルディック・ジャパン社長) のご出席もお願いしております。是非多くの会員の皆様のご出

席をお待ちいたします。

尚、同封の返信葉書にて11月20日迄にご出欠をお知らせ下さい。(海外在住の会員への返信葉書は省略させていただきます)

記

日時：平成元年12月1日(金) 18:30~20:30

場所：東京グリーンホテル・淡路町店

〒101 千代田区神田淡路町2-6

Tel 03-255-4161

交通：

地下鉄丸の内線淡路町より神田川方面徒歩2分

地下鉄都営新宿線小川町より神田川方面徒歩2分

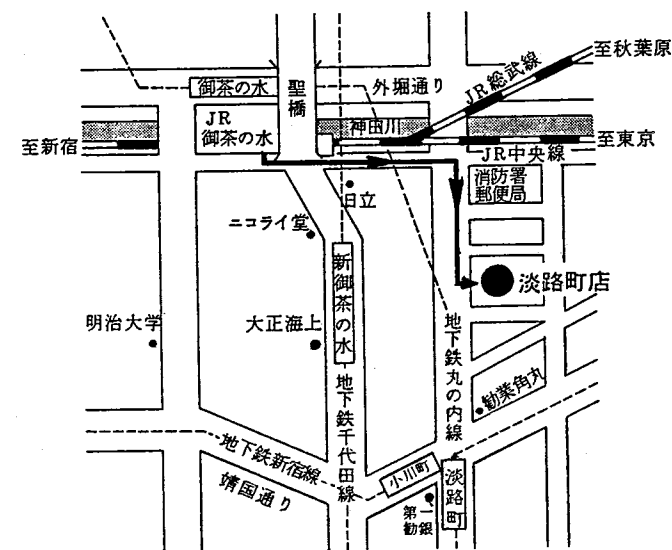
JR 中央線お茶の水聖橋口より徒歩7分

会費：¥6,000



マイケル・アマコスト大使御夫妻歓迎午餐会 7月15日 於マリオン内アラスカ

## 東京グリーンホテル(淡路町)



## Dr. Sara D. Miyahira を囲んで

EWCA の Dean である Dr. Sara D. Miyahira を囲んで、平成元年 4 月 13 日、夕方 6 時から、新宿の三井ビルで夜景を見ながら、夕食会を行いました。急なことでしたので、臨時幹事会もかねて、幹事の方々に連絡して約 10 名にご出席いただきました。(馬場房子)

## 中国 Chapter の会長の来日について

EWCA の中国 Chapter 会長である馮予蜀氏 (Mr. YU-SHU FENG) が、牛場信彦記念財団フェローとして 3 ヶ月間来日されていたので、平成元年 3 月 4 日に馬場房子が日本 EWCA を代表して情報交換をする機会を持ちました。その時、馮氏からは、将来、中国 Chapter と日本 EWCA とが共同で、Regional Meeting を行いたいという希望が述べられました。なお、馮氏は、Dean Miyahira を囲む夕食会にも出席されました。

馮氏は、中国中央財政金融学院研究所研究員であり、住所および電話は、次の通りです。

39 South College Road  
Beijing 100081, China  
Tel. 831-3377 Ext. 340

(馬場房子)

## Mrs. Rose Nakamura's Whirlwind Trip

EWCA の創設期から 25 年間、一貫して留学生・参加者の世話役を努め、昨年末退職されたミセス・ローズ・ナカムラが、「旋風の如き旅」の終りに東京へ寄られた。

1989 年 5 月 29 日 (月曜) 夕刻、東京芝のグランド・ホテルへ集まったのは、会長馬場氏、矢野安剛氏 ('63 ISI)、神保尚武氏 ('69 O.G.) と筆者、飯塚成彦 ('65 ISI) の 4 人。御同道のミセス・ジェーン・ノートン (ハワイ大学の留学

生部長) とローズを囲んで記念撮影の後、5 人で、生憎の雨の中を、約 8 分歩いて、芝 ABC 会館の京料理店「花桐」へ。筆者は、凶らずも、ローズと相合い傘の光栄に浴し、右半身ウェット! しかし、「彼女の運んできたハワイの暖かい空気」(矢野氏による)もあって、またたく間に乾き、爽やかになった。

懐石料理のフルコースが終っても、話は尽きない。お話によると、翌日は静岡県清水市の齊藤晃氏 ('65 ISI) のお招きで、氏の勤める東海大学の海洋博物館などをご見学の後、再び東京で西村嘉太郎氏 ('63 ISI) とご夕食の由。東京へ来られる前に、大阪、神戸、京都、名古屋の各市で、同窓の諸氏と会合を持たれた由であったので、いずれ、それぞれの様子もご報告いただくとして、今回は紙面の都合もあり、以上、簡単にご報告まで。各地でお世話下さった皆様に、厚く御礼申し上げます。(飯塚成彦)

## 沖縄 Chapter との関係について

平成元年 9 月 21 日から 22 日まで、沖縄に行く機会がありましたので、飛行機の便を遅らせてもらい、旧友である山里清氏 (1962 年) を琉球大学にお訪ねしましたが、お約束していたわけではありませんでしたので、あいにくお留守でお目にかかることができませんでした。幸い、バリ島とハワイ (Chapter Leaders Workshop) でお目にかかったことがある石島英氏 (1961 年) がおられ、お話をすることができました。石島氏からは、次のような近著をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

石島英著「台風学のすすめ—沖縄からみた、台風自然と風土—」新星図書、昭和 63 年

石島氏をお訪ねした後、もう 1 人の旧友である照屋文雄氏 (1963 年) をお訪ねしました。照屋氏は、琉球放送の局長になっておられました。沖縄 Chapter も、日本 EWCA の Sub-Chapter として、関西 Chapter、中部 Chapter と同じく

して、大いに交流していきたいということで意見の一致を見ました。

平成元年 10 月 9 日の幹事会でそのことをお話しして大方の御賛同を得ました。そして、次回に名簿を作成する時には、現在かなり抜けている沖縄の方々のお名前を入れるようにしたいと思います。その間、ニューズレター第 4 号 (本号) より、できるかぎり送らせていただきたく思います。会費につきましても、日本 EWCA の方へ、3,000 円送っていただき、5,000 円送っていただいた方の分については、沖縄 Chapter の方へ、2,000 円分についてはまとめて送らせていただくことを、再度確認させていただきました。(馬場房子)

## 関西 Chapter の役員移動について

日本 EWC 同友会の関西支部の役員は従来の神戸グループから京都グループへバトンタッチされました。新役員は以下の通りです。

支部長	'62 太田 幹夫
会計	'62 北条 和明
書記	'66 柄山 美和子
役員	'67 藤林 修一
〃	'67 George Hlawatsch
〃	'69 渡辺 信一

## 会費納入状況

平成元年度会費の振込者数は 10 月 9 日現在、延べ 214 名となっております。この中、関西・中部・沖縄支部の会員からは、¥5,000 の会費中 ¥3,000 を東京に頂いております。お振込有難うございます。

会費払込先 (郵便局口座):

東京 5-13497

東京都武蔵野市境 5-24-10

亜細亜大学馬場研究室内

日本イーストウエストセンター同友会

## 会員の訳書



—面白いのでお読みになって見ませんか

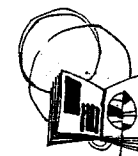
「悪いこと」メアリー・ゲイツキル著、酒井洋子訳、早川書房、1989。

'64~'66 酒井洋子さんの最新の訳書です。著者のメアリー・ゲイツキルは現在 34 才、ニューヨークに住む新進の作家ですがその経歴はいわゆる不良少女に留まらず、麻薬・暴力・売春の世界に身を浸し、又復学して大学に入り、文章作法を学んで作品を発表したり、事務員、モデル、秘書などの職業にも従事しては傍ら文章を書き続けていたという変わったものです。「悪いこと」は 9 つの小品から成る自伝的短編集で原題は Bad Behavior、昨年の発表以来全世界の

批評家の絶賛を浴びたという作品で、日本でもこの酒井洋子さんの訳書は発売 2 週間で既に重版という売行きを示しています。(中村正枝)

「マノアの虹」船津好平著、響文社、1989。

'64-'66 MATESEL の船津好平氏が EWCA 留学中に北海道に残して来られた夫人と子供たちとの間に取り交わした手紙を中心に、ご自分の留学経験を通して変わっていった人生観やキリスト者としての世界観を述べておられます。(中村正枝)



## Phi Delta Kappa, Tokyo Chapter First Annual Conference

表記会議が下記の通り開催されます。

開催日：1990年2月24日(土)

会場：東京・国際会館

Theme：“Global Education：Agenda for the  
21st Century”

Keynote Speaker：Dr. David Grossman, East  
-West Center

上記テーマに関連した発表をご希望の方は、  
1989年11月30日(当日消印有効)までに英文概  
要をシングル・スペースで1～3ページ以内に  
まとめ下記までお送り下さい。発表時間は20分  
です。

Mr. Ron Scronce

(自宅) 〒240-01 神奈川県葉山町1822  
(勤務先電話) 0468-26-1911 内線 7574

### ◆◆お知らせ◆◆

イーストウエストセンターが発行しているプ  
ログラムの日本語版が出来ました。大学や企業  
等でもっとEWCの事を知って頂くためにご利用  
頂ければ幸いです。ご希望の方は同友会事務局  
までお申し込み下さい。郵送料1部250円(切手)  
を同封して下さい。

事務局：〒227 横浜市緑区美しが丘西3-39-4  
中村 正枝



## 編集後記

日本EWCA同友会ニューズレター創刊号から  
第4号まで担当させていただきました。発行に  
あたりましては、申し上げるまでもなく、多く  
の方々からご協力をいただきました。ご執筆下  
さいました方々には、この紙面をお借り致しま  
して心からお礼申し上げます。また幹事の皆様  
からもご声援をいただきまして、本当にありが  
とうございました。

ニューズレターの発行は馬場房子さん、中村  
正枝さんに負うところが大きく、記事をご執筆  
下さる方にご依頼していただくことをはじめ、  
ECWAおよび日本ECWA同友会の活動に関す  
る記事をお二人にまとめていただきました。ま  
た発送の作業も毎回一緒にしていただきまし  
て、本当にありがとうございました。

ニューズレターの仕事を通じて日本ECWA同  
友会の活動にも幾分なりとも参加でき、沢山の  
の方々にお目にかかる機会を得、本当にいい経験  
をさせていただきました。いろいろなことを思  
い出しながら次のご担当の方にバトンをお渡し  
申し上げます。(岡 久子)



### ニューズレター 4号

編集発行 日本イーストウエストセンター同友会  
発行責任者 馬場 房子  
〒180 東京都武蔵野市境5-24-10  
亜細亜大学馬場研究室内  
電話 0422-54-3111

タナカ印刷(株)